（公財）日本女性学習財団設立 85 周年記念

2025 年度 キャリア支援デザイナーフォーラム

本フォーラムは、全国各所で活動している「キャリア支援デザイナー」の全国大会として実施します。
キャリア支援デザイナーの方はもちろん、一般の方にもご参加いただけます。たくさんのご参加をお待ちしております。

2026 3.7 Sat 13:00-16:50

ハイブリッド開催

見逃し配信あり

第 1 部　第 25 回ぶっく・とーく　13:00-14:30

『明治のナイチンゲール　大関和物語』

2026 年前期 NHK 連続テレビ小説「風、薫る」原案

2026 年前期の NHK 連続テレビ小説「風、薫る」の原案である『明治のナイチンゲール 大関和物語』（中央公論新社,2023 年）を著した田中ひかるさんに、物語に込めた思いなどをうかがいます。
明治のころ、看護師は「金のために汚い仕事も厭わず、時には命まで差し出す賤業」と見なされていました。生涯をかけて、「看護婦」の制度化と技能の向上に努めた大関和。現代にも続くケア労働の問題、根強く残るジェンダー課題を考えます。

＜著者＞
田中　ひかる さん
歴史社会学者

＜聞き手＞
伯野　朋絵
当財団職員

第 2 部　トークセッション　14:50-16:50

女性リーダーはいかに生まれるのか

―国家元首から地域のリーダーまで

＜講師＞
海妻　径子 さん
岩手大学副学長・
ダイバーシティ推進室長

＜講師＞
三浦　まり さん
上智大学法学部教授
（一社）パリテ・アカデミー共同代表

＜コーディネーター＞
野村　浩子
当財団理事長
ジャーナリスト
東京家政学院大学特別招聘教授

女性首相の誕生で「景色が変わった」という声が聞かれますが、みなさんの実感としてはいかがでしょうか。
あらゆる分野で今なお女性リーダーが不足しており、その誕生を阻むものとして、社会構造、職場の文化、ジェンダーバイアスなどが挙げられます。はたして「働いて、働いて、働いて、働いて、働いて」いかないと、女性はリーダーになれないのでしょうか。
政治、教育、地域社会…各界の女性リーダーの研究を重ね、育成活動を牽引するお二人からお話をうかがいます。女性リーダーはいかに生まれるのか――みなさんと共に考えていきたいと思います。

- 開催方法　ハイブリッド（会場、オンライン〔Zoom〕）開催
- 定　　員　会場〔日本女子会館 5 階 Space We learn〕30 人、オンライン〔Zoom〕50 人【先着順】
- 参 加 費　キャリア支援デザイナー、OWL 会員、賛助会員、財団理事・評議員・監事：　無料
  一般　1 日参加チケット：1,000 円
- 申込方法　Peatix （https://jawe260307.peatix.com/）からお申し込みください。
- 主　　催　公益財団法人 日本女性学習財団

申込はこちら
Peatix

登壇者プロフィール

—ご支援をお願いいたします—
賛助会員制度のご案内
※賛助会員の皆様は、
無料でご参加できます。

【第 1 部　第 25 回ぶっく・とーく】

お話（著者）

田中 ひかる さん　　歴史社会学者

学習院大学法学部卒業。予備校・高校非常勤講師などを経て、専修大学大学院文学研究科修士課程、横浜国立大学大学院環境情報学府博士課程に学ぶ。博士（学術）。女性に関するテーマを中心に、執筆・講演活動を行う。主著に『「毒婦」 和歌山カレー事件 20 年目の真実』(ビジネス社,2018 年)、『生理用品の社会史』(角川ソフィア文庫,2019 年)、『月経と犯罪 〝生理〟はどう語られてきたか』（平凡社,2019 年）、『明治を生きた男装の女医 高橋瑞物語』(中央公論新社,2020 年)、『明治のナイチンゲール 大関和物語』(中央公論新社,2023 年)など。

【第 2 部　トークセッション】

講師

海妻 径子 さん　　岩手大学副学長・ダイバーシティ推進室長
岩手大学人文社会科学部人間文化課程教授

お茶の水女子大学院人間文化研究科人間発達学専攻女性学講座博士課程単位取得満期退学。専門はジェンダー論、男性史。著書に『近代日本の父性論とジェンダー・ポリティクス』（作品社,2004 年）、『ゆらぐ親密圏とフェミニズム―グローバル時代のケア・労働・アイデンティティ』（コモンズ,2016 年）、共著に『家族研究の最前線 3 子どもと教育―近代家族というアリーナ』（日本経済評論社,2018 年）、『家族の変容と法制度の再構築―ジェンダー／セクシュアリティ／子どもの視点から』（法律文化社,2022 年）、『論点・ジェンダー史学』（ミネルヴァ書房,2023 年）など。

講師

三浦 まり さん　　上智大学法学部教授
一般社団法人パリテ・アカデミー共同代表

カリフォルニア大学バークレー校にて Ph.D. （政治学）取得。専門はジェンダーと政治、福祉国家論。主著に『ジェンダー・クオータ：世界の女性議員はなぜ増えたか』（共編著,明石書店,2014 年）、『私たちの声を議会へ：代表制民主主義の再生』（岩波書店,2015 年）、『日本の女性議員：どうすれば増えるのか』（編著,朝日選書,2016 年）、『さらば、男性政治』（岩波新書,2023 年,石橋湛山賞,平塚らいてう賞）、『政治って、面白い！女性政治家 24 人が語る仕事のリアル』（編著,花伝社,2023 年）、『ジェンダー・クオータがもたらす新しい政治：効果の検証』（編著,法律文化社,2024 年）など。若手女性対象の政治リーダー養成を手がける一般社団法人パリテ・アカデミー共同代表。都道府県版ジェンダー・ギャップ指数を算出する「地域からジェンダー平等研究会」主査。2021 年にフランス共和国より国家功労賞シュバリエを受章。

コーディネーター

野村 浩子　　（公財）日本女性学習財団 理事長
ジャーナリスト、東京家政学院大学特別招聘教授

お茶の水女子大学文教育学部卒業。日経ホーム出版社（現日経 BP）発行の『日経 WOMAN』編集長、日本初の女性リーダー向け雑誌『日経ＥＷ』編集長、日本経済新聞社・編集委員、淑徳大学教授などを経て、2020 年 4 月より東京家政学院大学特別招聘教授、また 2024 年 6 月より当財団理事長に就任。財務省・財政制度等審議会など政府自治体の各種委員も務める。著書に『女性リーダーが生まれるとき』（光文社新書,2020 年）、『市川房枝、そこから続く「長い列」―参政権からジェンダー平等まで』（亜紀書房,2023 年）、『地方で拓く女性のキャリア―中小企業のリーダーに学ぶ』（光文社新書,2025 年）など。

申込方法

Peatix より
お申し込み
ください→
https://jawe260307.peatix.com/

主催・問合せ

公益財団法人 日本女性学習財団
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 5 階
TEL：03-3434-7575　FAX：03-3434-8082
E-mail：jawe@nifty.com

会場 MAP